

～院長コラム～

『 やっぱり麻黄湯はよく効く 』

かぜも大して流行していませんが、38℃を超える発熱のお子さんが来院されます。

熱だけで他の症状は全くありません。

ノドは少し赤い程度で、真っ赤で飲み込むのが痛そうという感じではありません。

常連さんは自宅にあった麻黄湯(まおうとう)を2回、3回と飲んで来ましたと言われます。

来院時に既に解熱(37.5℃以下、36℃台のこともあり)してしまったよー、というケースも多々あります。

ウイルスであろうが、細菌であろうがまず発熱して汗をかいていない時は、お子さんであれば麻黄湯がまず効きます。

インフルエンザ A、B にも保険適応があります。

結果的にインフルエンザだっていいわけです。

気をつけなければいけないのは、熱が出て一旦解熱した後、再び発熱した時はもう麻黄湯は飲んではいけな、というルールです。

熱が出てから麻黄湯を飲んで発汗と同時に解熱すれば一番わかりやすいですが、汗をかいたがまだ熱がスッキリ下がらない時は、病気は次のステージに進行してしまっただけです。

対応する漢方薬も第2ステージの柴胡剤と呼ばれるグループに変更します。

よく使われるのは小柴胡湯(しょうさいこうとう)、柴胡桂枝湯(さいこけいしとう)でしょうか。

大人が麻黄湯を飲むと胃に障る人がいます。

であれば、葛根湯です(含まれる麻黄の量が少ない)。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2013年2月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付

△:乳幼児健診及び予防接種



診療予約

058-327-4891

お問い合わせ

058-327-3100